

## 平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月4日

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8008 URL http://www.yondoshi.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 秀典  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務担当 (氏名) 西村 政彦 TEL 03-5719-3429  
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績（平成28年3月1日～平成28年5月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	11,588	△5.8	1,547	14.8	1,860	10.5	1,217	0.4
28年2月期第1四半期	12,306	△2.9	1,348	△13.6	1,683	△9.0	1,212	2.9

(注) 包括利益 29年2月期第1四半期 1,424百万円 (△12.3%) 28年2月期第1四半期 1,624百万円 (34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	47.10	47.03
28年2月期第1四半期	45.56	45.47

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第1四半期	60,155	46,164	76.6	1,782.34
28年2月期	60,576	45,237	74.6	1,747.62

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 46,083百万円 28年2月期 45,168百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年2月期	—				
29年2月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

## 3. 平成29年2月期の連結業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,300	△3.1	2,450	11.2	3,000	26.0	2,000	44.7	77.36
通期	51,500	△2.6	6,550	7.1	7,700	12.3	4,950	15.7	191.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 一社（社名）－、除外 1社（社名）株式会社三鈴

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期1Q	29,331,356株	28年2月期	29,331,356株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	3,475,790株	28年2月期	3,485,424株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期1Q	25,851,767株	28年2月期1Q	26,605,585株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高の進行や中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念、長引く個人消費の低迷等に加え企業収益にも陰りが見え始めるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

さらに、流通業界におきましても、節約志向の継続やインバウンド需要の減速等により消費が落ち込み、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、第4次中期経営計画2年目となる2016年度におきまして、「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組んでおります。そして、信頼性の高い企業グループの構築に向けCSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高115億88百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益15億47百万円（前年同期比14.8%増）、経常利益18億60百万円（前年同期比10.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億17百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間としては、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに過去最高を更新いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(ジュエリー事業)

ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループにおきましては、主力の「4℃」（ヨンドシー）ジュエリーが、既存店の改装にあわせたゾーン、アイテムの拡充等により堅調に推移いたしました。また、「canal 4℃」（カナルヨンドシー）や「Luria 4℃」（ルリアヨンドシー）を中心とした積極的な出店拡大や、ブランドミックスのシナジーを活かした複合店・隣接店の展開に引き続き取り組みました。加えて、前年同期比2ケタ成長を続けるEC事業の好調な推移も業績を牽引いたしました。

その結果、売上高は73億5百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は13億82百万円（前年同期比7.8%増）となり、売上高、営業利益ともに過去最高を更新いたしました。

(アパレル事業)

アパレル事業におきましては、アスティグループは、企画提案力と生産背景を活かした主力得意先との取り組み強化が奏功し、好調に推移いたしました。(株)アージュでは、主力のデイリーファッション事業「パレット」の出店拡大を進めるとともに商品構成力の強化による利益改善に取り組み、好調に推移いたしました。また、(株)三鈴は、平成28年4月28日の株式譲渡に伴い当第1四半期連結会計期間より当社の連結子会社から除外しております。

その結果、売上高は42億83百万円（前年同期比21.8%減）、営業利益は1億78百万円（前年同期比123.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、資産は主に、投資有価証券が9億9百万円増加したものの、現金及び預金が14億29百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して4億20百万円減少し601億55百万円となりました。負債は主に、未払法人税等が11億8百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して13億47百万円減少し、139億91百万円となりました。純資産は前連結会計年度末と比較して9億26百万円増加して461億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において連結子会社であった㈱三鈴は、平成28年4月11日付『子会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ』及び同年4月28日付『株式譲渡契約の締結に関するお知らせ』にて公表のとおり、同年4月28日に当社の保有する同社の全株式を売却したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物について、減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、従業員に対する中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」を導入し、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

① 取引の概要

当社は、「4℃ホールディングスグループ従業員持株会」(以下「本持株会」といいます)に加入する従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者とする信託を設定し、従持信託は今後5年間にわたり本持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を取得し、その後毎月一定日に本持株会へ売却を行うものであります。信託終了時に、株価の上昇により信託収益がある場合には、受益者たる従業員の抛割割合に応じて金銭が分配されます。株価の下落により譲渡損失が生じ信託財産に係る債務が残る場合には、金銭消費貸借契約の保証事項に基づき、当社が銀行に対して一括して弁済するため、従業員への追加負担はありません。

② 信託が保有する自社の株式に関する事項

従持信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当第1四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は456,514千円、株式数は165,600株であります。

③ 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

当第1四半期連結会計期間末 478,810千円

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,145,844	716,828
受取手形及び売掛金	3,671,116	3,804,894
有価証券	3,140,000	2,600,000
商品及び製品	7,612,167	8,309,852
仕掛品	746,972	692,545
原材料及び貯蔵品	702,663	727,784
その他	895,776	1,655,979
貸倒引当金	△11,940	△1,756
流動資産合計	18,902,600	18,506,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,028,177	5,905,355
土地	5,528,465	5,492,215
その他(純額)	1,102,278	1,072,057
有形固定資産合計	12,658,921	12,469,628
無形固定資産		
のれん	5,213,301	5,089,174
その他	374,273	310,048
無形固定資産合計	5,587,575	5,399,223
投資その他の資産		
投資有価証券	18,490,635	19,400,583
退職給付に係る資産	391,765	401,271
その他	4,659,029	4,090,726
貸倒引当金	△114,219	△112,218
投資その他の資産合計	23,427,211	23,780,362
固定資産合計	41,673,708	41,649,214
資産合計	60,576,308	60,155,343

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,289,341	5,062,554
未払法人税等	1,545,501	437,107
賞与引当金	528,148	358,255
役員賞与引当金	56,600	15,703
資産除去債務	13,391	11,821
その他	3,897,039	3,491,874
流動負債合計	10,330,022	9,377,317
固定負債		
長期借入金	478,810	478,810
役員退職慰労引当金	433,131	335,077
退職給付に係る負債	669,081	520,582
資産除去債務	1,040,972	945,644
その他	2,386,467	2,333,706
固定負債合計	5,008,462	4,613,820
負債合計	15,338,485	13,991,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金	18,146,513	18,146,512
利益剰余金	29,958,714	30,641,312
自己株式	△5,768,298	△5,742,627
株主資本合計	44,823,450	45,531,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	810,524	1,010,906
繰延ヘッジ損益	△34,981	△9,088
土地再評価差額金	△158,063	△168,478
為替換算調整勘定	81,167	62,358
退職給付に係る調整累計額	△353,371	△344,008
その他の包括利益累計額合計	345,275	551,688
新株予約権	69,097	80,799
純資産合計	45,237,823	46,164,206
負債純資産合計	60,576,308	60,155,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	12,306,453	11,588,520
売上原価	5,222,598	4,757,212
売上総利益	7,083,855	6,831,308
販売費及び一般管理費	5,735,469	5,283,586
営業利益	1,348,385	1,547,721
営業外収益		
受取利息	4,809	4,667
受取配当金	5,501	5,994
持分法による投資利益	281,505	284,430
投資不動産賃貸料	25,485	18,285
為替差益	5,289	—
その他	18,189	11,869
営業外収益合計	340,780	325,247
営業外費用		
支払利息	145	76
投資不動産減価償却費	1,470	1,174
為替差損	—	9,142
投資不動産管理費用	511	511
その他	3,240	1,616
営業外費用合計	5,368	12,521
経常利益	1,683,798	1,860,447
特別損失		
減損損失	13,219	9,425
関係会社株式売却損	—	493,781
特別損失合計	13,219	503,206
税金等調整前四半期純利益	1,670,579	1,357,240
法人税、住民税及び事業税	382,608	435,520
法人税等調整額	75,707	△295,978
法人税等合計	458,315	139,541
四半期純利益	1,212,263	1,217,699
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,212,263	1,217,699

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益	1,212,263	1,217,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	375,521	105,221
繰延ヘッジ損益	△137	24,437
為替換算調整勘定	828	△18,809
土地再評価差額金	—	△10,415
退職給付に係る調整額	936	16,004
持分法適用会社に対する持分相当額	35,060	89,973
その他の包括利益合計	412,209	206,413
四半期包括利益	1,624,473	1,424,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,624,473	1,424,112
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ジュエリー事業	アパレル事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,827,320	5,479,133	12,306,453	—	12,306,453
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,978	222,322	234,300	△234,300	—
計	6,839,298	5,701,455	12,540,754	△234,300	12,306,453
セグメント利益	1,282,901	79,953	1,362,854	△14,468	1,348,385

(注)1 セグメント利益の調整額△14,468千円は、主に各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な減損損失はございません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ジュエリー事業	アパレル事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,305,131	4,283,389	11,588,520	—	11,588,520
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,854	240,745	247,600	△247,600	—
計	7,311,985	4,524,135	11,836,121	△247,600	11,588,520
セグメント利益	1,382,535	178,282	1,560,817	△13,096	1,547,721

(注)1 セグメント利益の調整額△13,096千円は、主に各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な減損損失はございません。